

演題名	遊休農地における繁殖和牛の放牧活用事例		
発表者 氏名	中島 純子	所属	伊那家畜保健衛生所
<p>管内の遊休農地において H16 年度から 2 年間「農地を牛でよみがえらせよう！実証事業」に取組み、繁殖和牛の放牧を開始。事業終了後、地元 A 会から放牧の希望があり現在まで 8 年間継続中。放牧は 3.5ha の遊休地に繁殖和牛 2～7 頭、毎年 6～10 月に実施。管理は A 会が行い、関係機関による月 1 回の衛生検査を実施。放牧効果として、地主には草刈作業不要及び再生農地でのそば栽培等地域活性効果、牛貸出農場には飼養管理の省力化が図られた。継続にあたり JA、行政等関係機関が借用牛確保、飼養管理、衛生対策等に協力し課題の解決を図った。H23 年度以降においては放牧牛の飼料確保のため、野生動物食害対策として県の野生鳥獣害担当者指導によるシカ対策用電気柵の改善、人為的な草地植生の維持管理として畜産試験場等の実証試験による牧草播種を実施。関係機関の連携による課題対応が継続した放牧を可能にしている。</p>			